



1

## <沿革>

- 昭和49年  
県内初の知的障害養護学校として開校
- 平成16年  
獨協医科大学病院とちぎ子ども医療センター内に  
ひばり分教室を開設
- 平成22年  
肢体不自由教育部門開設

2

## ＜通学圏＞

部 門	設置学部	通学圏等
知的障害 教育部門	小学部 中学部 高等部	栃木市 壬生町 鹿沼市(旧栗野町) ※高等部は鹿沼市南部
肢体不自由 教育部門	小学部 中学部 高等部	上記の市町・ 小山市・下野市・ 野木町
病弱教育 部門 (ひばり分教室)	小学部 中学部	獨協医科大学病院とちぎ 子ども医療センターで長期 の入院治療を要する児童 生徒

3

## ＜児童生徒数＞(2023 .5.1 現在)

◎知的障害教育部門…計190名

小学部:68名 中学部:40名 高等部:82名

◎肢体不自由教育部門…計53名

＊訪問教育学級含む

小学部:20名 中学部:13名 高等部:20名

◎病弱教育部門(ひばり分教室)…計6名

小学部:2名 中学部:4名

総計:249名

4

## <スクールバス>

- ・ ゆうがおコース  
（栃木市北部・壬生町方面）
- ・ しらさぎコース  
（栃木市南部方面 大平・藤岡・岩舟）
- ・ みかもコース  
（栃木市中心部方面）
- ・ さくらコース  
（下野市・小山市方面）
- ・ あじさいコース  
（小山市・野木町方面）



5

## <医療的ケア>

保護者から申請のあった児童生徒について  
主治医の指示の下、学校看護師が医療的ケア  
を行う。



朝のバイタルチェック

- ・ 経管栄養
- ・ 吸引
- ・ 吸入
- ・ 導尿

など

6

## ＜給食の食形態＞



普通食



一口大食



きざみ食



ペースト食

7

## ＜寄宿舎＞

- ・設置年度 S49年
- ・寄宿舎生 16名  
(中学部6名、高等部10名)
- ・寄宿舎指導員13名
- ・舎監 11名



8

## 日課表

日 課 表	時 刻
起床・洗面	6:30
清掃	7:00
ロビー集合・点呼	7:20
配膳・朝食・食事指導	7:30
登校	8:40
下校(※1)	14:15(水) 15:10
おやつ(※)・自由時間・入浴	15:30
配膳・夕食・食事指導	17:30
食堂清掃	18:10
自習時間	18:30
余暇時間	19:00
就寝時間	19:50(小) 20:50(中) 21:50(高)

※1 小学部のみ月・金曜日は13:20下校

※2 おやつは週2回(月・水曜日)



9

## 寄宿舎での生活の様子



### 布団準備

「布団の形とシーツカバーの形を合わせてから、カバー掛けを行います」



### 洗濯物干し

「ピンチにしっかり留めています」

10



## 寄宿舎での生活の様子



掃除機掛け

「畳の線から線まで、畳の目に沿って動かします」



テーブル拭き

「拭き残しがないように、気を付けています」

11

## <学校教育目標>

児童生徒のもてる力を高め、  
生活や学習上の困難さに対して適切な指導や  
必要な支援を行うことにより、  
可能な限り自己の力を発揮し、  
より良く生きるために必要な力を養う。

自立と社会参加  
を目指す

12

## 令和5年度の重点目標

### 【重点目標1】

自立的に生きる力を育てる指導の充実

ICT機器を効果的に活用した主体的な学びを促す  
ための授業づくりと授業改善

### 【重点目標2】

安全・安心な学校づくり

安全・危機管理体制の徹底及び安全教育の充実

13

## 自立的に生きる力の基礎を培う

自立とは・・・

自分の意思に基づき

○ 自分のできることは自分で行う

○ 困難なことは

周りの人々の助けを得て生活する

子どもの  
日々の生活の中  
に見られる  
社会参加の姿

14

## 【重点目標1】

### 自主的に生きる力を育てる指導の充実

#### 〈具体的な取組〉

- 「子ども安心月間」「子ども自信月間」の設定
- 「学びのあしあと確認表」「キャリアパスポート」を活用した個に応じた指導の充実
- 継続的な授業改善(子どもの姿から学ぶ)
- 生活訓練施設(しらさぎ寮)を活用した学習の実践
- 家庭との学びの成果の共有
- 福祉、地域との共有

15

## 「学びのあしあと確認表」 「キャリアパスポート」を活用した 個に応じた指導の充実

### 学びのあしあと確認表 (日常生活編)

『ねえ、見て！』  
自分でもできるもん！

RS-A

【子どもの育ちを支える関わり】  
子どもは、できるようになったことなどを好きな人に伝えようします。  
思いを認められることで、確かな自信となり、自らの行動を通して現れるようになります。  
子どものその時々々の発信“あのね…”に、しっかり耳を傾けましょう。

重点内容	日空の教科	段階	チェック項目	学びの度合い			重点取組 年・学期
				A	B	C	
食事	生活	小 I	給食を食べることができる				
	生活	小 I	スプーン・フォークで食べることができる				
	生活	小 I	箸を使って食べることができる				
	生活	小 I	箸を正しく持って食べることができる				
	生活	小 I	食器を持って食べることができる				
	生活	小 I	ストローを使って飲むことができる				
	生活	小 I	コップを使って飲むことができる				
	生活	小 I	ジャム、ドレッシングを塗ることができる				
	生活	小 I	デザートカップの蓋を閉めることができる				
	生活	小 I	牛乳パックにストローを差込むことができる				
	生活	小 I	こぼさずに食べる				
	生活	小 I	主食やおかずを交互に食べることができる				
生活	小 II		飲み物や食べ物が入った食器を運ぶことができる				

- A: 支援者と一緒に行動することができる  
B: できるだけ自分で行動することができる  
C: 自分から行動することができる

16



# 「キャリアパスポート」(中学部用)

4月の「子ども参観期間」に作成しましょう。

**自分のことを知ろう!**

年 組 名前

① 自分のよいところ、好きなことを書きましょう。

自分のよいところは、こんなところ!

好きなこと

② 学校での仕事(係活動)、家庭での役割(手伝い)を書きましょう。

仕事(係活動など)

役割(手伝いなど)

③ とくいなことを書きましょう。

得意

生活

④ 将来どんな仕事をしてみたいですか?

⑤ 身につけたい力・がんばりたいことは何ですか?

(1) 将来に向けて身につけたい力は何か?

(2) 今年、身につけたい力・がんばりたいことは何ですか?

身につけたい力・がんばりたいこと	できた	もうすこし
日常生活・洗濯		
学習		
楽しみたいこと		

達成者管理欄

達成者管理欄	目標	評価

17

# 実際の中学部生のシート

**学びのあしあと確認表 (洗濯編)**

【子どもの育ちを支える関わり】

子どもは、できるようになったことなどを好きな人に伝えようします。思いを認められることで、確かな力となり、自らの行動として現れるようになります。子どものその時々での発信“あのね…”に、しっかり耳を傾けましょう。

重点内容	目安の教科	段階	チェック項目	学びの成果			重点取組年・学期
				A	B	C	
洗濯機・手洗い	算数	中Ⅱ	洗濯機のボタン操作ができる	○			
		中Ⅱ	適当な量の洗濯物で洗濯することができる	○			
		中Ⅱ	適量の洗剤を使用することができる	○			
		中Ⅱ	衣類の汚れやポケットの中身を確認して洗濯することができる	○			
		中Ⅰ	もみ洗い、つまみ洗い、おし洗いをすることができる	○			
		中Ⅰ	衣類を手でずき、絞ることができる	○			
洗濯干し	算数	中Ⅰ	靴を洗うことができる	○			
		中Ⅰ	干す前に衣類のしわ伸ばしをすることができる	○			
		中Ⅰ	干すときに襟や袖などの衣類の乱れを直すことができる	○			
		中Ⅰ	洗濯物によって干す道具を選ぶことができる	○			
		中Ⅰ	ピンチハンガーのバランスがとれている	○			
		中Ⅰ	ハンガーを適切に使用することができる	○			
	算数	中Ⅰ	ハンカチ、タオルは角を合わせて畳むことができる	○			
		中Ⅰ	膝下は形状を合わせて折ることができる	○			

**キャリアパスポート**

④ 将来どんな仕事をしてみたいですか?

おみせやさん

⑤ 身につけたい力・がんばりたいことは何ですか?

(1) 将来に向けて身につけたい力は何か?

よくひょうをた、びれでできる、さいーまひりくえ。

(2) 今年、身につけたい力・がんばりたいことは何ですか?

身につけたい力・がんばりたいこと	できた	もうすこし
ピンチハンガーのバランスがとれている		
床の目に沿ってゆっくり進むことができる。		
タブレットを使う		

18

## 継続的な 授業改善

- ・授業改善シートを活用
- ・子どもの主体的な姿を教員同士で共有
- ・授業で目指す姿が明確に

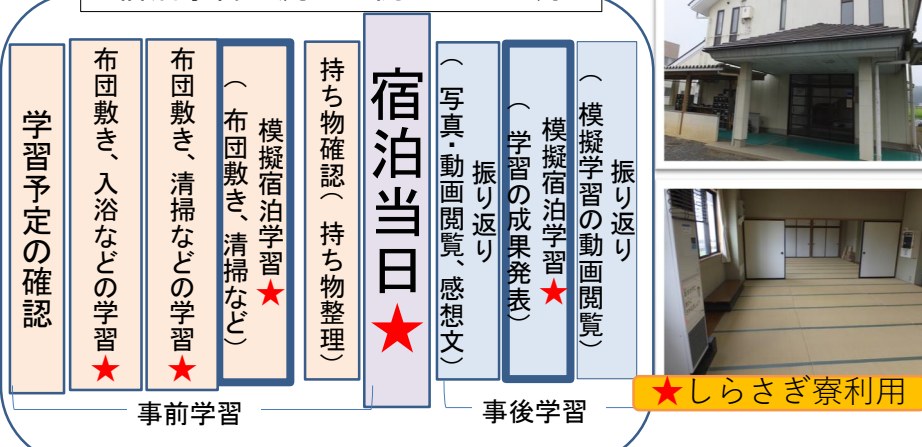
意欲を育む授業改善シート		記入者
実施日時	年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分	
授業者名	対象学年・学級	
教科名等	単元名・題材名	
項目	観点	良かった点 今後さらなる充実に向けて
・個別の目標は児童生徒の実態に合っていたか。 ・指導内容は学習指導要領に即していたか。		
主体的に取り組んでいる姿	・児童生徒が教師に注目して話を聴くことができたか。 ・児童生徒が教材をよく見たり、自分から触ろうとしたりしていたか。 ・児童生徒が自分からやりたいという気持ちを表出することができたか。 ・自分で考えて判断し、選択することができたか。 ・児童生徒が自分なりに工夫して取り組もうとすることができたか。	
指導の工夫 (ICT機器の活用も含めて)	【児童生徒が活動の見通しが持てている】 ・一人一人が見通しを持てるような工夫 ・教師と児童生徒が目標を共有できるための工夫 【児童生徒ができたわかったという実感がある】 ・指導の手立ての工夫 (教材・教員、教師の関わりなど) 【児童生徒が認められ、達成感を味わっている】 ・児童生徒同士での認め合いの工夫 ・振り返りの工夫 ・評価の工夫	
・安全面に配慮できたか。		
その他の 気付き・感想など		

19

## 生活訓練施設(しらさぎ寮)を活用した 学習の実際

H元年設置

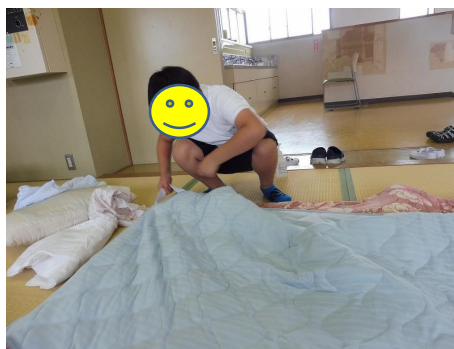
宿泊学習の流れの例 1~2か月



宿泊学習以外でも、調理、洗濯、掃除などで、しらさぎ寮を活用

20

## 生活訓練施設での学習



小学部『布団敷き』

「シーツのゴムを布団にか  
けます。一人でできたよ」



小学部『食器の片付け』

「一人でできたよ。  
家でもやってみたいな」

21

## 生活訓練施設での学習



小学部『布団敷き』

「友達と一緒に楽しいね」



中学部『布団敷き』

動画で、布団を敷いている自分  
を撮影。「できている自分を見て、  
自信を高めていきます」

22

## 生活訓練施設での学習



### 高等部『調理』

「慎重に、皆の食事を  
用意します」

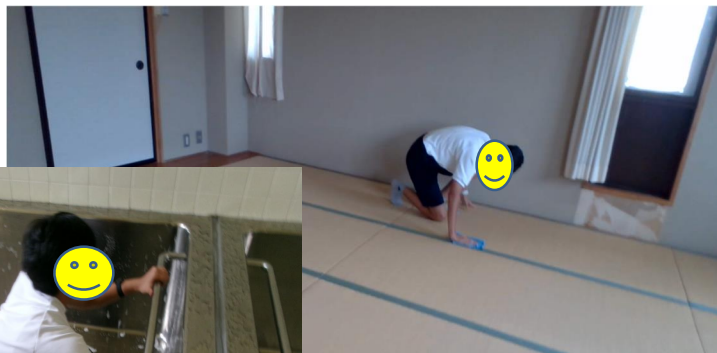
### 高等部『洗濯』

「バランスに気を付けな  
がら、干しています」



23

## 生活訓練施設での学習



### 高等部『清掃』

「快適な生活のために、  
場所に応じて清掃の  
仕方が違うことを学び、  
実践します」

24

## 教室等でも学びを重ねる



小学部『洗顔』

「水をすくうときの  
手の形はこうだね」

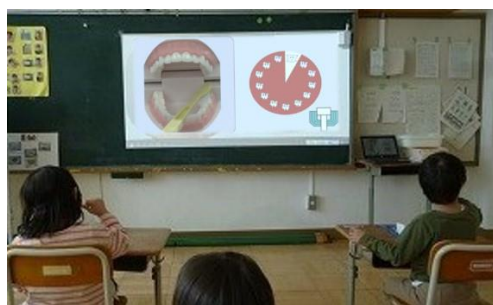
小学部『雑巾しぼり』

「腕にも力を入れて  
ぎゅっとしぼるよ」



25

## 教室等でも学びを重ねる



小学部『歯磨き』

「自分で歯みがき  
できるよ」

中学部『洗顔』

「洗顔フォームを  
使い、鏡で確認中」



26



## 教室等でも学びを重ねる



### 高等部『給食』

「生徒同士で、安全に配膳できます」



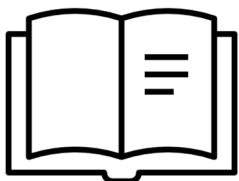
### 高等部『アイロンがけ』

「運動会で使ったはちまきを、自分で洗い、アイロンをかけています」

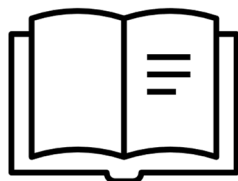
27

## 12年間学び続ける

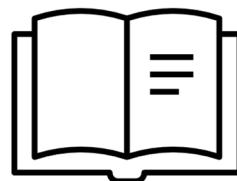
小学部段階を基礎とした、発展的な学習



小学部



中学部



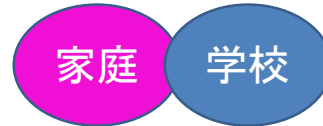
高等部

28



## 家庭との学びの成果の共有

- 日々のやりとり(連絡帳、送迎時、電話など)で
- 個別懇談・家庭訪問で
- 保護者会、授業参観で



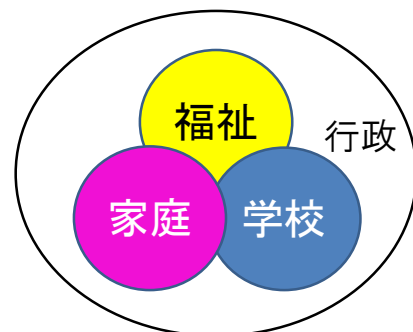
※子どものうまくいっている状況を共有する  
(できるようになった、これがあればできる など)

○一人1台タブレットの活用(できたことを映像で共有)

29

## 子どもの成長、支援情報を 福祉、地域と共有

- 日々のやりとり(送迎時の申し送り)で
- 連携会議(子どもを中心とした会議)で
- 学校見学時に
- 福祉事業所での体験で



30

## 放課後等デイサービス事業所との連携



下校時、今日の体調や  
学校での様子を引き継ぎ  
ます。

多くの福祉事業  
所が、お迎えに  
来ます。



31

## 連携会議

- ・必要に応じて開催する
- ・子どものできることや安心できる手立て、  
現状から必要な支援、今後想定される支援等を話し合う
- ・参加者：市町の関係機関の担当者、相談支援専門員、  
学校の教員、保護者 等
- ・「個別の教育支援計画」等を用い、  
本人保護者の願いのもと、関係  
機関との役割分担を明確にする



32

32

## 顔の見える関係に

～連携の第1歩は、互いを知ることから～

- ・学校見学会で、学校の様子を見てもらう。
- ・教員が、自立支援協議会や、  
相談支援専門員の集まりなどに参加する。
- ・夏季休業中に、教員が福祉事業所体験を行う。
- ・産業現場等における実習で、互いを知り、  
卒業後の生活につなげる。